

News release

Mélodie Deniz,
Ernst & Young Global Media Relations
+44 (0) 20 7980 0475 / +44 (0) 78 1063 0576
melodie.deniz@uk.ey.com

* 本ニュースリリースは、英国で3月20日に配信されたものの日本語版です。

世界景気とマクロ経済情勢の好転が、2013年 IPO 市場回復の追い風に

- ・ 世界 IPO 市場第 1 四半期の資金調達額は、2012 年を 30% 上回る見込み
- ・ もっとも活発な地域は米国。一方、アジアの IPO 取引はおよそ半減
- ・ 欧州でも一部の国で積極的な動きも見られる
- ・ 不動産業界が世界レベルで IPO 取引をリード

ロンドン、2013年3月20日

アーンスト・アンド・ヤングが発表した「Global IPO Update」では、2013年第1四半期発表当日までの世界新規 IPO (118社、182億米ドル調達) は、2012年の同時期 (204件、180億米ドル調達) と比べて資金調達額が1%増加し、会社数は42%減少しています。アーンスト・アンド・ヤングによる分析では、さらに第1四半期末までに、31社の新規 IPO と50億米ドルの調達額の増加が見込まれるとしています。

今期最大の取引は、26億米ドルを調達した米国の製薬会社ゾエティス(子会社上場によるスピンオフ)による株式公開でした。世界で今期10億米ドル超を調達した IPO は5件で、2012年の同時期は1件、2012年第4四半期では9件でした。平均調達額は、2012年第1四半期の8,820万米ドルから75%増えて1億5,400万米ドルに達しています。2013年第1四半期の IPO 延期は2件、中止は15件です(2012年第1四半期では順に2件、51件でした)。

アーンスト・アンド・ヤングの戦略的成長市場本部のグローバル・バイスチェア、マリア・ピネリは、「2013年第1四半期は、前の年の同じ時期に比べて頼もしい結果となりました。IPO パイプラインも堅調で、2013年中の株式公開に向けて積極的に準備を行っている企業は、世界に少なくとも300社存在することが分かっています。さらに、機関投資家が、再び IPO 市場を本格的な投資対象として見るようになり、2012年に IPO に投資した投資家は82%を超えています。わずか18%であった2010年、2011年とは対照的です。これらのデータは最新のアーンスト・アンド・ヤングの機関投資家調査で明らかになりました。」と述べています。

非常に好調な米国市場

2013年第1四半期、米国証券取引所では新規 IPO 24社で67億米ドルが調達されました。これは同時期に世界で調達された資金の37%に相当し、米国 IPO 市場が世界で最も活発であることを示しています。資金調達額は、2012年同期比で4%増加しています(41社、64億米ドル)。3月末までにさらに上場予定企業8社が12億米ドルの調達に成功すれば、米国は2012年第4四半期(33件、89億米ドル)の水準と肩を並べることになります。

3月のダウ・ジョーンズ工業株価平均は、2007年10月以来の最高値を付けています。マクロ経済情勢の好転も相まって、米国の市況感是非常にポジティブであることを意味しています。投資家の不安材料であるマクロ経済情勢さえ安定していれば、2013年の残り9カ月を通じ、米国のIPO市場で非常に積極的な活動が繰り広げられることを期待できそうです。

米国IPO市場のけん引役は、不動産、ライフサイエンス、テクノロジー、そして石油・ガスセクターであり、米国IPOパイプラインの50%以上を占めると見込まれています。

欧州でも、改善の兆し

2013年第1四半期、欧州の証券取引所では15社が新規上場し、27億米ドルを調達しています（同時期の世界資金調達額の15%に相当）。ドイツの不動産会社LEGイモビリエンAGは15億米ドルを調達し、世界で2番目に大きな新規IPOとなりました。アーンスト・アンド・ヤングの「Global IPO Pipeline Analysis」では、3月末までに11社の新規IPOが予定され、20億米ドルが調達されることが見込まれています。実際に成功すれば、資金調達額は2012年の同じ時期の168%（39件、29億米ドル）ということになります。ドイツ、英国、スカンジナビア諸国の新規IPOは活発な活動がみられます。欧州の他の国々では、2013年下半年期まで回復の兆しはみられないでしょう。

「2013年は、手元資金不足に苦慮する政府が国有企業のIPOを推進して資本獲得に奔走する可能性があります。また、成長の早い企業や起業家による市場アクセスを支援する政府の新たな取り組みも同様に、2013年の残り9カ月間にとって非常に重要です。」と、マリア・ピネリは指摘しています。

「このような、政府からの支援的な環境と、好調なマーケット指数の組み合わせは、欧州の状態が大幅に改善していることを意味しています。しかしながら、ユーロ圏の政治的・経済的な課題は、資本市場全体に暗い影を落としています。」

出足が遅れたアジア

2013年の第1四半期、アジアの新規IPO社数は劇的に減少しました。アジアの証券取引所の新規IPOは58社で、世界の資金調達額の28%である51億米ドルを調達しています。2012年第1四半期（97社、84億米ドル）と比較すると、資金調達額は38%減、会社数は40%減となっています。

減少している理由は、2012年11月以降、中国証券取引所への上場が休止になっていることにあります。市場再開時には上場予定会社について追加的な調査を行うという新法案もあり、活動はますます鈍化する見通しです。2013年第1四半期、中国本土の取引所で新規IPOは1社もありませんでした。香港の2013年第1四半期IPO会社数（9社、10億米ドル）は、2012年第1四半期（14社、14億米ドル）に比べ、若干減少しています。

日本とシンガポールのIPO市場は、比較的順調でした。これらの証券取引所において2013年第1四半期に集められた資金調達額は、アジア全体の62%を占めています。また、REIT（不動産投資信託）への関心が特別に高い状態がさらに続いています。シンガポール証券取引所で14億米ドルを調達したメープルツリー・グレーターチャイナ・コマーシャル・トラスト、日本で11億米ドルを調達した日本プロロジスなど、大手REIT企業の上場が優勢でした。魅力的な配当と商業用不動産市場における需給の逼迫^{ひっばく}が、新規IPOの成功を後押ししました。

マリア・ピネリは、「2013年上半期のアジア市場は低迷状態ですが、下半期、起業家による活発な新規IPOをもっと期待できるでしょう。中国のIPO市場では、国有企業の存在感が薄れてきていますが、アジアの他のマーケットでは、国有企業の積極的な株式公開が見られます。」と述べています。

業種別 IPO の特徴

資金調達額の業種別トップは「不動産」で、世界のIPO取引高(62億米ドル)の3分の1以上(34%)を占め、会社数(15%、18件)でも優勢でした。ゾエティスのIPOにより、ヘルスケア(15%、28億米ドル)と工業(9%、16億米ドル)も資金調達額で善戦しました。会社数では、工業が第2位(14%、16件)で、消費財(10%、12件)がこれに続いています。

「不動産セクターは、2013年第1四半期、世界IPOの主役となるでしょう。また、ライフサイエンス、テクノロジー、石油・ガスは、米国のIPO市場のけん引役になると期待しています。アジア市場には原材料、工業および金融サービスのIPOが引き続き登場します。欧州では、不動産と金融サービスの会社数が圧倒多数を占めると予想しています。」とピネリは結論付けています。

以上

Notes to editors

¹ Data presented in the Q1'13 Global IPO update and press releases are from data provider Dealogic

² From [Right team, right story, right price - Institutional investors support IPOs that come to market well prepared](#), Ernst & Young 2013

About Ernst & Young's IPO offering

Ernst & Young is a leader in helping to take companies public worldwide. With decades of experience our global network is dedicated to serving market leaders and helping businesses evaluate the pros and cons of an IPO. We demystify the process by offering IPO readiness assessments, IPO preparation, project management and execution services, all of which help prepare you for life in the public spotlight. Our Global IPO Center of Excellence is a virtual hub which provides access to our IPO knowledge, tools, thought leadership and contacts from around the world in one easy-to-use source. www.ey.com/ipocenter

アーンスト・アンド・ヤングについて

アーンスト・アンド・ヤングは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーサービスの分野における世界的なリーダーです。全世界の16万7千人の構成員は、共通のバリュー(価値観)に基づいて、品質において徹底した責任を果します。私どもは、クライアント、構成員、そして社会の可能性の実現に向けて、プラスの変化をもたらすよう支援します。

「アーンスト・アンド・ヤング」とは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのメンバーファームで構成されるグローバル・ネットワークを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、www.ey.comにて紹介しています。

このニュースリリースは、アーンスト・アンド・ヤングのメンバーであり、クライアントへのサービスは提供していないEYGMリミテッドが発行したものです。